

単
元
名

みんながすごしやすい学校へ

○ 小学校 (4) 年 教科等 (特別活動)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

学校生活をすべての人にとってよりよくするために話し合い、合意形成を図り、実践する力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

生活の中にあるマークに込められている思いを知り、オリジナル学校案内のマークをつくり出す力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集… 図書資料を活用し、生活の中で使われているマークやそれに込められた思いなどを知る。
- 整理・分析… 自分たちでつくるマークに必要な要素や込めたい思いなどを考える。
- まとめ・表現・発信… 整理した情報をもとに、すべての人にわかりやすい学校になるように教室表示のマークをつくり出す。

○ 学習の展開 (全3時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次 (1時間)	生活の中で使われているマークについて調べよう。 ・地図記号や生活の中で使われているマークについて調べる。(☆) ・「マークの意味」や「マークに込められた思い」について調べる。(☆)
第2次 (2時間)	すべての人がすごしやすい学校をめざし、教室マークをつくり出そう。 ・すべての人に何のための教室なのか伝わるようなマークを考える。(☆)(本時) ・グループごとに教室マークをつくり、掲示する。

(本時 2 / 3 時)

☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい

- ・すべての人が過ごしやすい学校をめざし、教室マークを考える。

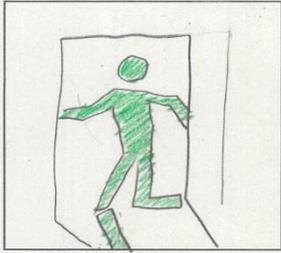
学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 導入	・誰もが過ごしやすい社会をめざしていることにふれる。
	すべての人が過ごしやすい学校をめざし、教室マークを考えよう。	
15	2. 整理・分析 ・教室マークをつくるのに必要なキーワードについてウェブマップを活用して整理する。 ・前時で調べた情報を生かして、教室マークを考える。	・担当している教室から連想できる言葉を整理できるように声かけする。 ・マークに関連した本を事前に用意しておく。 ・教室マークを考える際に、いつでも本を読み直してもよいことを伝える。
15	3. まとめ・表現 ・整理した情報をもとに、教室マークをつくりはじめる。	・誰でもわかりやすい教室マークをつくるために「大きく」「シンプル」「濃く」の3つのポイントを伝える。
5	4. ふりかえり ・本時の学びをふりかえる。	・教室マークを考案する中で、困ったことなどがあれば共有する。 ・次時で教室マークを完成させ、掲示することを伝える。



みんながすごしやすい学校へ

②生活の中で使われているマークについて調べよう。



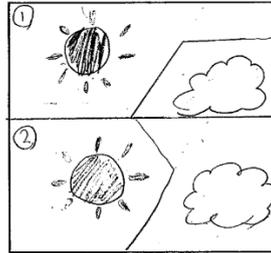
★何のマーク?何のため?
 非常口の場所表示
 絵文字走ってOK
 とする人の絵をもとに
 している

ふりかえり

今回調べたマークは非常口でも本口はいろいろ
 異なるマークがあった。非常口をしらべたり
 けうは学校に非常口がどこにあるの
 を調べておいてすぐに出られるようにと
 いうおもいをもってしらべました。

みんながすごしやすい学校へ

②生活の中で使われているマークについて調べよう。



★何のマーク?何のため?

①何のマーク?
 天気マーク。
 何のため?
 みんなに天気を知らせるため。
 マークはにているのに

①の 의미は太陽のマークの右下
 に小さく雲のマークをいれて
 かわらせます。

②目覚めからくもりになることを
 やすくイメージマークを使ってあらわ
 します。

ふりかえり (ギモン・ぬねの答)

①「ギモン」
 にているマークなのにいみがちがうので
 ギモンにおもいました。
 ②「ぬね」
 おなじ(にている)マークなのにいみがちがう
 ところがびっくりしました。

